

地方創生関連交付金の検証について

事業名	商店街の景観・ホスピタリティ向上事業						
担当課	産業経済部商工観光課	事業実施年度	令和元年度				
事業の概要	まちづくりの推進や市街地の魅力の向上の為に、商店等を利用する住民・市街地を周遊する観光客が気軽に休憩をとることができ、かつ、地域交流の場として活用できるような滞留空間を整備・活用することにより、商店街の景観や市内外の周遊者に対するホスピタリティを向上させ、「市街地そのものの魅力の向上」を図る。	市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす				
		交付金の名称	地方創生推進交付金				
		総事業費	令和5年度：－（令和元年度から3年度：33,861千円）				
		交付金額	令和5年度：－（令和元年度から3年度：16,930千円）				
重要業績成果指標 (KPI)	指標名称	基準値 (H30)	R4実績値	R5実績値	R5目標値	補足説明	
	KPI①	店前景観整備事業を活用した商店等の売上げの向上率	0%	2%	11%	90%	
	KPI②	売上げアップ店内改修モデル事業を活用した商店等の売上げの向上率	0%	28%	32%	90%	
	KPI③	店前景観整備事業により作成した店前景観モデルデザインを利用した商店等の数	0件	19件	19件	30件	商工観光課調査
	KPI④	市街地に賑わいがあると思う市民の割合	11.1%	15.9%	15.9%	20.5%	アンケート調査
活動状況	<p>○令和5年度に実施した主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備した滞留空間の維持管理 	主な効果	<p>コロナが5類に移行したこともあり、売上げが徐々に増加してきた。</p> <p>聞き取り調査の中では店舗改修を実施した事業主から改修内容に否定的な意見はなく、利用者からも好評をいただいている。</p>				
今後の方針	<p>・「モデル店舗」については、事業の実施後もモニタリングを継続するとともに、他の商店等の経営者の研修に活用する等、市街地の賑わい創出のための素材として、中・長期的に活用する。</p>						